

復興の歩みを進めるいわて三陸の姿を紹介します。

復興キラリ

道の駅「いわて北三陸」(久慈市)



道の駅「いわて北三陸」のスタッフの皆さん。
後方右端は、運営を担う駅長の大向昌彦さん。

地域に根ざす道の駅として 北三陸の新たなファンづくりを！

2023年4月19日、久慈市に新たな観光交流スポットが誕生しました。久慈広域エリアの玄関口となる、道の駅「いわて北三陸」です。復興支援事業の一環として整備された三陸沿岸道路の開通をきっかけに、久慈市、洋野町、野田村、普代村の4市町村が連携し、エリアの魅力に触れてもらう周遊観光の拠点として完成しました。

地域の特産品や味が楽しめる物販・飲食スペースはもちろんのこと、特徴的なのは地域の方々が普段使いできる機能を備えていること。屋内で遊べるキッズスペースや個室を備えた授乳室など、子育て世代に優し

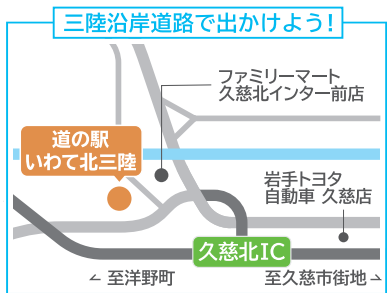
い施設が充実しているほか、屋外には芸能披露や出店などが可能な屋根付きのイベント広場や、いわて応援ポケモンをモチーフにした「イシツブテ公園」もあります。

「観光客だけでなく、地域の人に愛される場所になることが大事。何度も足を運んでもらえるように、いろいろな仕掛けを考えていきたいです」と、駅長として運営を担うシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社の大向昌彦(おおむかいまさひこ)さんは語ります。

観光にも暮らしにも開かれた道の駅として北三陸を盛り上げ、復興を後押ししています。



5mのタワー滑り台を備えたキッズスペース。屋内の遊び場として地域の子育て世代にも人気。



[問] 道の駅いわて北三陸
0194-66-8830

震災の教訓を忘れない！



震災の事実を伝えながら、防災の大切さを分かりやすく発信！

豊かな三陸の海に暮らすさまざまな生物や、地域の海の文化に触れることができる「久慈地下水族科学館もぐらんぴあ」。管理棟の3階には、東日本大震災津波での出来事やそこから得た教訓などを紹介する「防災展示室あーすぴあ」があります。フロア内には、震災当時の被災状況を伝えるパネル展示、三陸地域の地形や津波のメカニズムの紹介、地震が起こった際の行動を学べるコーナーや手作り防災グッズなどを展示。水族館自体も被災した経験を踏まえ、訪れる来館者に災害に備えることの大切さを分かりやすく伝えています。

久慈地下水族科学館もぐらんぴあ公式サイト▶

